

# GSSS2025 通信

Gifu Summer Science School in Nakatsugawa Since 1995

30th Anniversary 2025.8.5~8.7



今年は岐阜サマー・サイエンス・スクール(GSSS)が始まって30回目を迎えました。30回のGSSSにおける参加者は3030名となり、多くの中学生や一般の方に参加していただきました。

30回目を記念して30周年記念式典を行い、すべての講義を一般公開としました。また、2021年以降オンライン形式で行なってきましたが、オンラインと対面のハイブリッド形式としました。

3日間の様子や生徒の感想をまとめました。

## 30周年記念式典



末松安晴実行委員長



今村聰子 文部科学省  
大臣官房 文部科学戦略官



堀貴雄  
岐阜県教育委員会教育長



GSSS 卒業生 岡本泰典さんの話

GSSSで学んだことや中学生の今、大切にしてほしいことなど、自らの経験を交え中学生に向けてお話ししていただきました。

## 特別講義 1 「知るということ～セレンディピティーと待ち構えた知性～」

筑波大学名誉教授 白川英樹先生

・今日の講義は、正直物理があまり得意ではないので少し心配でした。しかし、先生のお話はとても分かりやすく、そして、研究の楽しさが伝わってきて、とても面白かったです。白川先生がおっしゃっていた、研究者の道は一つの道ではなく、色々な道があるという言葉が、すごく印象に残りました。私は将来、研究者の道に進みたいと思っています。「楽しい」と思うこと、そして「興味を持つ」ことを、大切にして生きたいです。今日の講義、本当にありがとうございました。最後に、お話にあった、偶然から偉大な発見があるというお話、すごく心に残りました。



・普段自分ではあまりない発想や、考え方、ものの見方などを、改めて感じることができました。そして、たくさんのことにも関心を持って、自分なりの視点、観点を見て、自分なりの考えをひも解くことも大切だと感じました。物理を学ぶことで、もっと深くものを考えたり、見たりできるようになるという話に感銘を受けました。これは、これから受験にも生かせるような考えだと思いました。先生方も努力しているんだなと、改めて実感しました。

・白川先生のお話を聞いて、天動説や地動説、そして、ポリアセチレンなどの色々な発見や知識について知ることができ、とても面白かったです。そして、何かに興味を持って、それを追求していくことが、人生の豊かさにつながるということを学びました。私も、これからも色々なことに興味を持って、探究心をもって、知識を深めていきたいです。そして、将来、人の役に立つような研究をしたいです。



・本物を見て、自然に触れて、考えて、というのが大切だと、白川先生がおっしゃっていたのが印象的でした。そして、化学反応が起こるために、色々な物質を混ぜ合わせたり、色々な条件を試したりする必要があるということを知りました。私も、これから、色々なことに挑戦して、失敗を恐れずに、自分で考え、行動していきたいです。そして、将来、自分の好きなことを仕事にしたいです。

・昔から当たり前だと思っていたこと、疑問に思ったことは、私が自分で納得できるまで、納得できなくとも、先生に質問して、自分の中で解決していきたいです。私は何でも納得するまで調べるということの大切さを学びました。これからも、こういう視点と好奇心を持ち、日々生活を過ごしていきたいと思います。

・今まで、知っていることと理解することは同じことだと思っていた。しかし、話を聞いて「なぜそうなるのか」まで説明できなければ理解していることにはならないということを知り、とても大きな発見になった。何事もどうしてそうなるのか、を疑問に思って、自分で調べていく、ということを大切にしていきたい。

・最初は、セレンディピティーって何だろうって思っていたけど、すごく良いお話を聞けて良かったです。努力しなければ、偶然や失敗が、目的以上に大きく実る事はない。私は努力を怠らないことと、好奇心と、忍耐がなければ、失敗も偶然により目的以上に大きい成果とは、なりえないのだということが分かりました。今後、普段の生活に好奇心を持って、新しい物や疑問が見えよう、少しずつ試してみようと思いました。

・先生の話がとても面白くて、引き込まれました。楽しかったです。白川先生が、化学が好きになるきっかけが子供の頃のお手伝いだった事に驚いたし、金属の炎色反応や木や葉の乾溜に注目していた事はさすが科学者だなあと感心しました。先生の言葉で印象に残ったのは、知ると言う事です。「知っている」事と「理解している」事は別問題だと知った事です。時々、自分はこれ知ってる!と言う事があるけど、人に説明出来なかったり、本当は分かって無い事があったりするなと思いました。直ぐには出来ないけど、これから良く観察し、記録し、調べ、自分なりに考えられるようになりたいと思いました。

・実物を見る、本物で学ぶ、自然に学ぶという言葉がとても印象に残りました。自分もこの3つの言葉を大切に過ごしていきたいと思いました。また、待ち構えている心がなければ偉大な発見の種は根を下ろさないということを学んだので自分も好奇心旺盛に日々色々なことにチャレンジしていきたいと思いました。

・これから生きて行く上でとても大切なことを教えてくださったので、ためになりました。特にジョセフ・ヘンリーさんの「待ち構えている心」とレイ・パストゥールさんの「待ち構えた知性」が大切で、それでセレンディピティーを学べると言う先生の言葉が印象に残りました。僕は研究者になりたいので、先生の言葉を踏まえて、目的意識を持って学習して行き、セレンディピティーに出会えるように行動して行きたいです。

## 特別講義2 「インターネットの背骨～光ファイバー通信～」

東京科学大学栄誉教授

末松安晴先生

実験担当 浅田雅洋先生

渡辺正裕先生

・現代社会に欠かせないインターネットや、授業で少ししか習わずによく理解していなかった光ファイバーについて、とても勉強になりました。これから時代、AIがますます増える中で賢く生きていくためには、何が眞実で何が嘘かを見極める力を持つことが重要だと改めて実感しました。光がどのように反射し、伝わるのかをはっきりと見ることができたので、実験は楽しかったです。



・3年間見てきた光ファイバーやケーブルの圧倒的な技術力に驚かされます。2万kmに及ぶ膨大な情報を一度に送信する技術は、陸上だけでなく、海などの目に見えない場所でも活躍し、世界中に情報を送ることができます。「2つの鍵」のセキュリティで安心現代の私たちに欠かせない情報技術が、末松先生をはじめとする多くの研究者の努力によって生み出されたことに感動しました。先生がおっしゃったように、社会に貢献できるよう日々努力していきたいと思います。

・末松安晴先生の話を聞いて、光ファイバーの仕組みや便利になった経緯が少し分かりました。私たちが普段使っているインターネットでも、様々な暗号化方式が使われていることにも驚き、興味を持ちました。これから的人生で必ず関わることになる通信網はとても便利ですが、自分で考え、自分で行動することを大切にしていきたいと思っています。色々なことに挑戦して、小さな努力を積み重ねていきたいです。今日、実際に目で見て体験した光ファイバー実験や光の分解と合成はとても興味深いと思いました。分かりやすい講義をありがとうございました。



・光ファイバーがどのように使われ、光がどのようにケーブルを伝わるのかを学ぶことができました。インターネットがどのように情報を伝えるのか、今まで知らなかったことを知ることができました。光ファイバーを使った実験も楽しかったです。これからは、物事を小さな視点から考えていきたいと思います。

・光ファイバー通信について学びましたが、とても難しいと思いました。また、末松先生の最後のお話から、大きなことを成し遂げるにはまず「小さなこと」「小さな研究」を積み重ねていく必要があるということを学びました。私もそうやって成長できるよう、挑戦していきたいと思います。

・今日の講義はとても分かりやすく、大変勉強になりました。普段の生活でよく使われている光ファイバーの仕組みや使い方も理解できました。また、インターネットでは様々な暗号が使われていることや、情報が正しいのか自分で判断できることの大切さも学びました。他人任せにしてはいけないという良い教訓になりました。ありがとうございました。

・今、当たり前のようにあるインターネットを支えている光ファイバー技術の仕組みや種類について知りました。光ファイバーが発明されなかったら今のインターネットを使って生活することはなかったかもしれませんとを考えたら、とてもすごい発明をしたと思います。この講義が終わったら光ファイバーについて調べたいです。

・様々な光通信の実験を通して、光ファイバー通信について楽しく学ぶことができました。実際に理科の授業で習っていたことも関係していて、今の段階で学んでいることも今後役に立つと、改めて感じました。これからも、いつも以上に普段の学びを大切にします。

・光ファイバーは、大量の情報を送れたり、細くて自由に曲げたりすることができるすごいものなんだと思います。また、インターネットは、間違っている情報もあるので、判断力と行動力が大切だと分かりました。実験では、光ファイバーに光を入れると、先に光が出てきてすごいなと思いました。また、三原色が入っている円を回すと白色に見えるのがおもしろいなと思いました。

・3年間この講義に参加しましたが、何度も受けても学年が上がるにつれ新しく学ぶことが多く、とても興味深い講義でした。光として情報を伝えることが3年間お聞きしてもとても印象深かったです。光ファイバーの実験もなかなか体験できないことなのでとても面白く感じました。

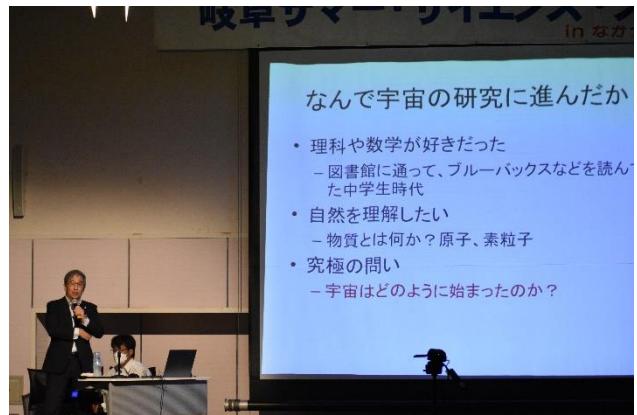
3年間貴重なご講義本当にありがとうございました。

・今回で3回目の参加になりますが、安晴先生の研究と実験が現在の世の中で役立っていること、いつ聞いても新鮮な驚きがあります。今回もインターネットを通して受講することができました。また僕の質問にもわかりやすく答えてくれてありがとうございました。今の技術で光ファイバーなしで空間中に通す事は難しいかもしれないと言うことがよくわかりました。しかし、先生の答えから「宇宙なら、光を直接飛ばすことが可能かも。」「雨や霧を関係なく通す光線を開発できるかも。」などの疑問が浮かび上がってきました。自分で調べて、もっと光通信のことを知りたいと思います。今年で僕はGSSSが最後なので、この3年間習ったことを今後に活かしていきたいです。

## 特別講義3 「ビッグバンの残光『宇宙マイクロ波背景放射』」

名古屋大学総長 杉山 直先生

・僕は、この講義を一番といっていいほど楽しみにしていました。学校では習えないようなビッグバンを見つけた人などはじめて知る知識がとても多く、面白いと感じました。僕はビッグバンが証明されたのが、今から100年以内と聞いて、わりと最近のことだと驚きました。ダークマターの事などまだわからないことの多い宇宙に改めて興味を持ちました。



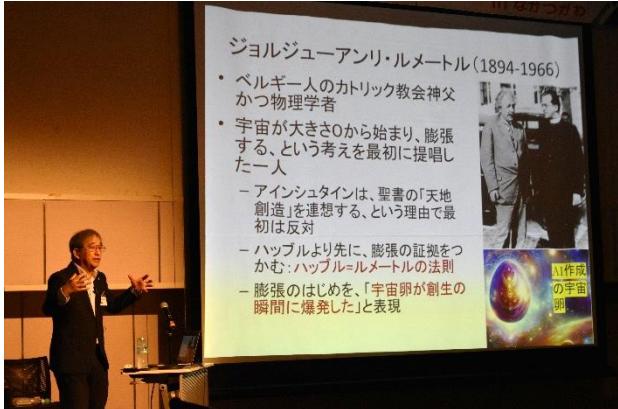
・私は理科が苦手です。ですが、天文学や生物学といったように、理科の中でも自然に関する分野は好きなので毎年とても興味深いお話を聞かせて頂いているので、本当に嬉しいです。ビッグバンが宇宙の始まりとなるまでの道のり、そして、ビッグバンによる宇宙の膨大な変化。そして、宇宙マイクロ波背景放射からわかるゆらぎ、そして、これからの宇宙の運命や、138億年という衝撃的な年齢など、おっしゃるように、まだまだ私達は、「宇宙」をほとんど知りません。しかし、今日の講義を通して、詳しく、楽しく知ることができました。これからも、自分が面白いと思った、興味を持ったものに突き進み、様々な考えを広めていきます。今日はありがとうございました。

・元素の He、Li がビッグバンに最初の3分で出来たことを初めて知ることができました。それが今、宇宙にたくさんの星があるのは、ダークエネルギーのおかげだということも知ることができました。星のありかたや、エネルギーのありかたも知ることができて、とてもおもしろかったです。



・宇宙のおもしろさをここまで分かりやすく説明していただけたので、ビッグバンをはじめとした宇宙の歴史、宇宙の構造など、学校の教科書では学べないような事を詳しく知ることができて、とてもおもしろかったです。まだ分からぬことがたくさんある宇宙ですが、今回の講義で疑問が深まりました。知らないことが多いほど、宇宙に興味がわくと、改めて思いました。これからもっと宇宙について知りたいです。

・宇宙のことについては家族と話合うことがあるけど、宇宙の歴史や音などは聞いたことがなかつたし、今、人間が知っている宇宙は氷山の一角程度だと知ってとても驚きました。今後の宇宙の調査にとても興味があるし、自分も宇宙についてもっと調べていき、家族とも宇宙についての視野を広げられたらいいなと思います。



・宇宙についてくわしくお話してくださり、ありがとうございました。宇宙にはたくさんの不思議があってすごく興味深いです。世界中の研究者は不思議を知るために何回も研究していてすごいです。とても貴重な時間ありがとうございました。分かりやすかったです。50億年後の銀河の衝突したときの青白く輝く空を見てみたいですね。生きていたら…。

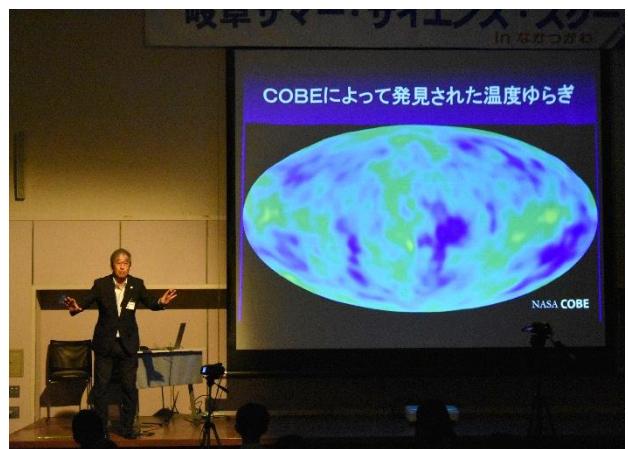
・宇宙のことについて少し知っていたけれど、宇宙のくわしいこと 知らないことをいろいろ知ることができてよかったです。元素が星やビッグバンからできていることや、わずかな温度の違いが 宇宙の構造の元になっていることが面白いなと思ったし それを発見することができた人物や実験がすごいなと思いました。もっと宇宙への興味がわきました。

・宇宙の仕組み等を学んだ中で、特にビッグバン証明に至るまでが印象に残り、歴史の偉人達が予想して、その予想の根拠を見つけ解説するということが、すごくロマンがあるなと思いました 僕も不思議なことがあったら先ずは予想していろいろ調べていきたいと思いました。興味深い講話をありがとうございました。

・3年間杉山先生の講義を受けてきましたが、1年生の時は分からなかったことが、進級するにつれわかることが増えてきてとても面白く興味深かったです。特にダークマターやダークエネルギーについて興味が湧きました。2年生の時に受けた講義でのブラックホールのお話で宇宙に興味を持ち、もっと知りたい調べてみたいと感じるようになりました。今年も参加させていただきました。将来は天文学に少しでも関わってみたいと思っています。

3年間貴重なご講義をありがとうございました。

・僕はダークエネルギー、ダークマター、ブラックホールなど、特に、宇宙の始まりなど、宇宙の未知の分野が好きなので、今回の講義はとても興奮しました。この前、天文学部の先生とブラウン管でCMBを聞き取るかどうかの実験をしました。CMBの1%だけですが、ブラウン管を通して、ビッグバンの残りを感じられることにとても感動しました。そして杉山先生の講義のおかげでもっと知ることができました。僕が一番すごいと思ったのは、COBE、WMAP、そしてPLANCK衛星が宇宙の始めの頃の「地図」を作ったことです。今日習ったことを更に自分で調べたり、理解を深めたりして、天文の分野に進路決定できるようにしたいです。



## 特別講義 4 「生物多様性の大切さ」

東京科学大学名誉教授 本川達雄先生

・今の時代に注目されている多様性について知れてよかったです。今回の講義で初めて生態系サービス、多様な生物の価値、多様性の大切さを知ることができました。先生の講義の中でとくに生態系サービスが心に残りました。人間は豚や牛などの食物だけでなく、コンクリートの原料など生物にどれだけ支えられているか知ることができました。



・本川先生の講義を聞いて、生物多様性の大切さについて知ることができた。また、最近は地球温暖化の影響で海水の温度が上昇しており、サンゴが白くなってしまうなどの問題がありサンゴ礁の数が減ってしまうなどの問題を聞いて思ったことは、このままではサンゴの数が減り、生物多様性が失われてしまう年数が経つことが早くなっているということを知って、今までより温暖化の恐ろしさを知ることができてよかったです。

・「生物学」。この分野も私が理科の中で最も興味を持てるものに入っています。本川先生のお話は毎年聞かせていただいているが、先生は「歌」という方法で、誰にでも、詳しいけど楽しく、分かりやすく学びを深めることができるので、すごく身に刻まれたし、印象に残りました。生物多様性については、本当に今を生きる私達が真剣に考えなければいけない問題だと思います。改めて先生のお話を聞き、強くそう感じました。これからは、多様性の中にある「自分が嫌う物」から逃げず目をつぶるのではなく、目をかっと開いて、覚悟を持って物に当たっていけるよう、努力していきます。一人一人の違う個性を尊重し、世界中の生物を大切にし、多様性が当たり前に在る日が来てほしいと思いました。

・今まで生物に対して多様性が大切だと聞いたことがあるけれど、今回本川先生の話を聞いて改めて考えさせられました。種の保存は人間たちの役割が実現していて、色んなこれから歩んでいきたいし、色んな種が共存できる社会が素晴らしいなと思いました。また、絶滅を大切にするのは種だけでなく、自分の周りにも言えることだと思います。人間関係に対しても自分からの一歩でも、関わりを深くすることで社会がよりよくなるのかなと思いました。だからこそ3年生になってさらに深く学んでいきたいと思いました。

・私たちが生きているのは生物のおかげということが分かりました。また、生物だけでなく、人も多様性も大切なことで、これからは嫌なことちゃんと聞いていけるようにしていきたいです。

・地球上では、さまざまな生物が住んでいて、貴重なことだと思っていましたが、私たちが知っているだけでも約200万種もいて、おどろきました。実際に、まだ知られていない種が1000万種もいて自分もいつか、みんなが知らない種を見つけたいと思いました。そして生物多様性の歌があって、とてもおもしろいと思いました。

・本川先生の話を聞いて、1日に1種以上絶滅していることを知ってとてもおどろきました。私は、絶滅しても私たち人間には関係ないのではないかと考えていたけど、めぐりめぐって人間にも悪影響になってしまうと思いました。これからは、いつの種を大切に1つでも多く生きられるように私にできることを考えて生活していきたいです。

・今回の講義で私はもともと生物に興味はあったけど今回の話を受けて今よりもっと生物に興味を持ちました。私は、今日本川先生の話を受けて、これから少しでも動物や植物が減らないように色々とボランティア活動やリサイクルなどをおこなっていきたいと思いました。他には、先生の曲を聞いて生物について知りました。

・講義を聞いて「1日の中で1種が絶滅している」と知って、それは自分たちが山をふみしめたり、海をうめ立したりして生物が住む場所をなくしていると思って、これは自分たちの生活にも関わることと思って、自分たちが生物の住む場所を大切にすることが大事だと思いました。

・生物が助け合いながら生きていて、人間のことも助けてくれているのに、人間は熱帯雨林を破壊していくばかりだなあとと思いました。供給・基盤・調整・文化的サービスをしてくれているから、遠回りから感謝の気持ちで生活していきたいです。また、環境に優しくすることを意識して絶滅してしまう生物が少しでも減るようにしたいと思いました。

・3年間本川先生のご講義に参加させていただき、自分は生物について多くのことを学ぶことが出来ました。今年のご講義からは、生態系サービスが印象に残りました。生物は、見えないところでも人間を支えているということを知りありがたさを感じると同時に人間も生物のためにできることをもっと増やして、生物に感謝を伝えていきたいと感じました。また、色々な生物が存在するということは、自分に優しくしてくれる生物ばかりじゃないけどそれも面白いと感じた方がいいという言葉も心に残りました。私が多様なら[私]も多様に続くという言葉を胸に生活していきたいと思います。

本川先生3年間貴重なご講義本当にありがとうございました。

## 特別講義5 「ロボット王国日本・からくりの面白さ」

名古屋大学名誉教授 末松良一先生

・ロボットの起源は外国で誕生したものだと思っていたが、それは間違いだった。江戸時代に生まれた「からくり」が世界に広まり、日本が「ロボット王国」と呼ばれるようになった。先生の実演と解説で、ロボットに対する知識を深めることができた。AIが人間を超えるかもしれないと言われる時代だが、私たちはひるんではいけないと実感した。これからAIと共に存できる社会を作れるように行動したい。



・ロボットやからくりのおもちゃが好きになった。最後に世界のロボットの画像を見て、知らないところでバク宙するロボットや運動神経がとても高いロボットがいて驚いた。ロボットが人間を超えるのも近いと感じてびっくりした。

・ロボットやからくりの面白さを知ることができた。ロボットには良い点だけでなく、気をつけなければいけない悪い点もあることが分かった。最近の技術は高性能だが、良いところばかりではないと学べた。

・ロボットがどのような動きをするのか、あまり知らなかつたが、今回の講義でからくり人形を実際に見て、興味が湧いた。実際に見てからくりが動く姿を知ることができた。ロボットを通してこれからの社会のあり方を考え、「ロボットに任せてばかりはだめだよ」という言葉が今も頭の中で響いている。



・末松先生の講義を受けて、今まで知らなかつたからくりやロボットの面白さを知ることができた。ロボットが職を奪うという話を聞いて、少しロボットの進化が怖くなつた。人間とロボットが協働して仕事ができる世界になつたら楽しく自由に過ごせるのではないかと思った。ロボットの進化はどこまで探求できるか楽しみだ。からくりを見て日本の暮らしを感じることも良い体験になった。

・講義を受けるまでロボットやからくりについてあまり知らなかつたが、詳しく知ることができて良かった。からくり人形が何百年も前からあって、そのどれもが素晴らしい仕組みだったことに驚いた。自分でからくり人形を作ってみたいと思った。



・からくり人形の実演を見てることができて、楽しく、からくり人形の仕組みを知ることができた。ロボットの物語では「ロボットだけが住む家」という言葉が心に残った。ロボットと共存する社会になるかもしれないが、AIを日々使うことが多くなっていると感じる。自分たちが責任を持って使えるようにしたい。

・ロボットが自我を持ち、人間を反逆して戦争になら怖いと思った。今回の講義で、人間や動物の尊厳を守り、危害を与えないというルールを守ってロボットを作れば、怖くないということが分かった。講義を聞いて、ロボットにも興味が湧いた。ロボットと一緒に暮らすのも楽しそう。

・講義を聞いて、ロボットの発展について考えさせられる内容だと思った。昔はからくりで動いていたものが、AIに取って代わり、いずれ共存という関係ではなくなってしまうかもしれないと思った。それでも、人間は責任を守るために、しっかり考えてみようと思った。

・ロボットの原点はからくり人形にあると知り、とても驚きました。改めてからくり人形を見てみると、その時代の思いや技術がつまっているのだと感じました。もし、からくり人形やロボットに触れる機会があれば、じっくりと触れて深く知りたいです。

・技術だけでなく、ロボットのあり方やルール作りについても考えるようになりました。からくり街道に含まれるこの地域で生活しながら、これからも勉強を続けたいと思いました。

・日本に昔からあるからくり人形が、今も祭り等でたくさんの人々に親しまれているということ、そのからくり人形が原点となりロボットが発展してきていることが印象に残りました。これからの時代は生活の様々なところでロボットは必要になってくると思うので、自分も知識を持って生活していきたいと思いました。

・からくりの仕組みについて聞いて、興味を持った。数十年前の江戸時代に、ああいった技術だけで、いろいろな仕掛けを作っていたことに驚いた。帰ってからくりのことを調べてみたいと思った。身の回りの技術を見つけたいとも思えた。

・昔からロボットには興味があり、現在はプログラミングなどを行っています。今回の講義で、江戸時代からからくりというロボットがあったことを知ることができ、ロボットの奥深さに驚きました。



## 3日間の GSSS を通して

- ・中学生として GSSS に参加するのは最後になった。生物学、天文学、ロボット、光ファイバー、知性など様々な分野を通して、今まで知らなかった科学の神秘を感じることができた。この3年間で学んだことは将来の役に立つものばかりだと思う。GSSS で学んだことを積極的に生かしていきたい。また機会があれば参加したい。
- ・初めて GSSS に参加したが、全ての講義がとても面白い内容ばかりで、科学のことだけでなく、人としてこれから大切にしていきたいことを学ぶことができた。難しいと感じた講義もあったが、復習や講義のおかげで、分からぬ部分も少しずつ分かることができた。理科は得意ではなかったが、先生が楽しそうに講義をしてくれたのを見て、理科はとても楽しいものなんだ、と興味を持つことができた。これからも積極的に学んでいきたい。
- ・私はこの GSSS 3日間を通して、科学の楽しさ、面白さや、今の技術のすごさについてより感じるようになりました。私は先生のお話も聞いて、何度も聞いても、飽きないくらい良い講義を受けることができたと思います。これからも色々な機会を通して、学んだことを活かして、成長することができるようにしていきたいです。
- ・どの講義もとても興味深く、面白い講義でした。GSSS に参加してから日々生活する中での見方が変わり、さまざまなものに疑問を持って過ごすことが出来ています。自分は GSSS に参加するまでは理系のことについて苦手意識を抱いていましたが、参加してからは特に宇宙について興味を持ち、将来の進路も宇宙関係に進みたいと考えています。僕は GSSS に参加して本当に良かったと感じています。来年からは高校生になってしまいますが、一般講義で参加したいと考えています。このような貴重な機会をつくってください本当にありがとうございました。
- ・今回で僕は GSSS の参加が三回目で最後になりました。先生方の講義は全て興味深く、勉強になりました。スライドも見やすくて、先生の話は丁寧だったので、理解しやすかったです。他の中学生達と勉強できて楽しかったです。そして GSSS の卒業生の話も参考になりました。

対面とオンラインのハイブリッド形式で行った30回目の GSSS は、対面では先生方の話にうなずきながら目を輝かせる姿、オンラインでは積極的に質問する姿が見られました。この GSSS が参加した皆さんにとって、科学のよさや楽しさを感じ、今後学ぶ意欲が高まる 것을期待しています。

共催いただいた[公財]ソフトピアジャパン様、後援していただいた文部科学省、岐阜県教育委員会、中津川ロータリークラブ様、中津川ライオンズクラブ様、[公財]関記念財団様、そして講義をしていただきました講師の先生方に感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。